

BLS・ALSに、
看護師はどうかかわる？



心肺蘇生に備えて
医療従事者がすべき準備って？

変わらない大切なこと

ちょっと変わったこと

注目のトピックス

『JRC蘇生ガイドライン2025』でチェック

心肺蘇生の

最新情報

2026年7月、『JRC蘇生ガイドライン2025』が発表されました。

このタイミングであらためて確認しておきたい、心肺蘇生の要点や新しいトピックスについて、
最新の根拠に沿って解説します。



【執筆】
にしやま ちか
西山知佳

『JRC蘇生ガイドライン2025』一次救命処置(BLS)編集委員
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
先端中核看護科学講座クリティカルケア看護学分野 准教授

CONTENTS

♥ まずはこちらをおさえておこう！ 『JRC蘇生ガイドライン2025』とは？	P.11
PART 1 「BLS(一次救命処置)医療用」のここに注目！	P.12
PART 2 「ALS(二次救命処置)」のここに注目！	P.20
PART 3 「普及・教育のための方策(EIT)」のここに注目！	P.24
PART 4 「わが国の疫学とシステムの現状」のここに注目！	P.26
PART 5 「救命処置に関する倫理と法」のここに注目！	P.29
COLUMN 心臓突然死から誰かにとっての大切な人を守るために、社会ができること	P.21

\\ まずはこちらをおさえておこう！ //

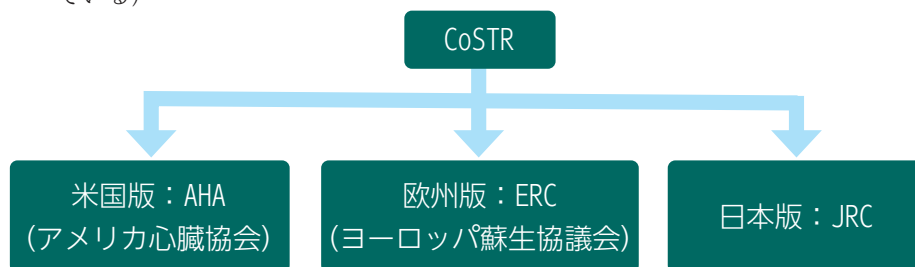
『JRC蘇生ガイドライン2025』とは？

『JRC蘇生ガイドライン』とは？

- ♥ 「**蘇生ガイドライン**」は、市民・医療従事者において心肺蘇生の手順や診療の指針となるものである
- ♥ JRC(日本蘇生協議会)では5年ごとに改訂版を発表しており、**最新版が2026年7月に発表**された
- ♥ JRCは2010年版ガイドラインからRCA(アジア蘇生協議会)を通じて**ILCOR(国際蘇生連絡委員会)**に参加している

ILCOR/CoSTRとは？

- ♥ ILCORから**CoSTR**(蘇生にかかわるエビデンス集)が発表され、それを受けて世界中で自国に合った蘇生ガイドラインが作成された(よって、各国で、ガイドラインの章立て・救命の連鎖・心肺蘇生のアルゴリズムが異なっている)



- ♥ CoSTRは**1年ごとに重要なトピックについて推奨と提案**が示されている

※ガイドライン改訂時期については加盟各国の判断にゆだねられており、JRCではRCAの方針に沿って5年ごとの改訂が継続されている

GRADEシステムとは？

- ♥ CoSTRでは、2015・2020年版から引き続きエビデンスの検討方法として**GRADEシステム**が採用されている
- ♥ GRADEシステムは“死亡率”などの「1つひとつのアウトカム」ごとに評価を行い、**1つの論文だけでエビデンスが左右されない**ほか、**患者の価値観や経済状況**といった要素も推奨度に加えられている
- ♥ 推奨度は、「強い」「弱い」という度合いに「使う」「使わない」という方向性を掛け合わせた4つの基準が存在する